

令和5年度学校関係者評価委員会

1. 日時 令和6年7月5日(金) 19:00～20:30
場所 函館歯科衛生士専門学校 会議室

2. 出席者
委員 高見 浩 (函館歯科医師会 副会長)
中川 雅永 (函館歯科医師会 理事・教務委員長)
東 清美 (北海道歯科衛生士会 函館支部長)
椛澤 里佳 (なしき歯科医院 実習指導歯科衛生士)
澤谷 幸絵 (函館歯科衛生士専門学校 同窓会会長)

学校 奥 ひろみ (函館歯科衛生士専門学校 校長)
渡邊 恵里 (函館歯科衛生士専門学校 教務主任)
永橋 茜 (函館歯科衛生士専門学校 教務主任補佐)

3. 次第
 - (1) 令和5年度自己点検評価報告書の説明
 - Ⅲ. 教育活動
 - Ⅳ. 学修成果
 - Ⅴ. 学生支援
 - Ⅵ. 教育環境
 - Ⅶ. 学生募集
 - (2) 質疑・応答
 - (3) 評価・意見交換 (改善意見、助言等)

上記をⅢ～Ⅶの領域ごとに行う

令和5年度自己点検評価における領域ごとの学校関係者評価・意見

領域・項目	課 題	評 価 ・ 意 見 ・ 回 答
Ⅲ教育活動	1. 修業年限内卒業率が80%を割っているが、本年度の3年生も既に80%を割っている件について 2. クラスづくりをゼミ形式としていることについて	1. 専門実践教育訓練給付金制度の指定要件になっているため重要である。申請には過去3年のうち選択した年度の数値を使うため次回の申請は可能である。前年度から退学者対策を改善しており、成果があがっているので継続していく。 2. かえって人間関係を悪くする等の影響はないか。新入生に退学者が無かったことから良い影響をもたらしたと考えている。
Ⅳ学修成果		意見なし
Ⅴ学生支援	1. 奨学金利用者が増加している件 2. 近郊の高校生で、規則が緩い道内の他校に進学した例がある件について。 3. 北海道歯科衛生士会函館支部の研修会における学生参加について	1. 修学支援制度の区分に4区分が追加されたが、該当者はいるのか。 現在3名が該当している。 次年度からは多子世帯にたいする更に手厚い支援が始まる予定があり、活用できる学生はいる。 2. 近年の女子高生はおしゃれや美容を好み傾向があり、学校でも新カリに審美歯科や美容歯科を取入れることは時代にマッチしており良いと思う。 学校としては、髪色など規定をどの程度まで緩和できるかは問題だが、学校内限定であれば緩和することは可能である。 3. コロナ以前は学生向けに研修会参加のスタンプシートもあったようだが？興味がある学生がいたら、参加してほしい。 コロナ禍で周知していなかったが、また案内したいと考えている。
Ⅵ教育環境		意見なし
Ⅶ学生募集	1. 放課後送迎付き見学会について 2. OSCEの実施について 3. 学校のアピールポイントについて	1. 男子高校生の参加者はいるか。 無かったが、問い合わせはある。まだまだ女子が主流の職業である。 2. OSCEを実施している学校は他にもあるか。 道内でも数校実施していると聞いている。 OSCEを乗り越えることで、自信や臨床実習への意欲に繋がると考える。 3. 即戦力が高いところがアピールポイントだと思うが、自分は大学選択の際、国家試験の合格率が決めてであった。そのようなアピールも必要ではないか。 歯科医院にアルバイトにきている学生は、学校行事が楽しかったと話していた。 Instagramでも学生の楽しそうな様子が伝わってくる。やはり学生発信のものだと、高校生にも伝わりやすいのではないかと。